

ユニバ - サル化時代の私立大学（学生生活白書）

目 次

まえがき

第1章 大学への期待や要望

今回の調査の特徴と「第1章」のねらいについて

第1節 入学の動機

- 1．在学中の大学を選んだ理由 - 目立つ現実指向と多様性
- 2．所属学部・学科を選んだ理由

第2節 入学後の満足度

- 1．入学した所属学部・学科への満足度
- 2．入学後の満足度と生活充実度の関連
- 3．学生生活における満足度の諸側面
- 4．大学に入ってよかったと思うことは何か

第3節 大学へのさまざまな期待や要望

- 1．教育内容・方法に対する期待や要望
- 2．施設・サ - ビスに対する期待や要望
- 3．「専門性」の自覚の違いが示唆するもの

第4節 学生が抱く大学のイメージ

- 1．今日の私大の学生像 - 専門指向型・自己探索型・成り行き型
- 2．学生の抱く大学のイメージ
- 3．求められる大学の対応

第2章 正課および正課外教育

第1節 正課授業および正課外講座に対する学生の受けとめ方

- 1．はじめに
- 2．いま風の学生像
- 3．FDの取り組みと成果
- 4．教養重視か専門重視か
- 5．学内外での正課外講座の受講と正課外教育のあり方
- 6．外国語教育の現状と問題点
- 7．おわりに

第2節 情報化・国際化等の進展

- 1．大学の情報化への対応

2. 大学の国際化への対応
3. 大学の情報化・国際化と学生の成長

第3章 ライフ

第1節 学生の1週間 平均的な生活時間

1. インタ - カレッジにはみ出す活動
2. 図書館無用の学生群
3. 引力は良好な対人関係
4. 課外活動の位置
5. 学内正課外教育の需要
6. 通学時間
7. 眠らない若者たち
8. 興味や関心 - 将来に直結する実力志向の顕在化
9. 自由を謳歌しながら実力を - 大切だと思っていること
10. 多種多様な学生像

第2節 課外活動と学生

1. 課外活動への参加度・課外と正課の両立度
2. 課外活動とアルバイト収入の関係
3. 課外活動に参加している学生の内訳・理由・満足度
4. 課外活動におけるトラブルや疑問
5. 課外活動と「帰属意識」

第3節 学生の不安や悩み

1. 友人がいない
2. 不安や悩み
3. 相談相手
4. 学生生活とトラブル
5. セクシュアル・ハラスメント

第4節 ボランティア活動

1. ボランティアよりアルバイト
2. 男は地域・災害型, 女は福祉・国際型

第5節 モラル・倫理観

1. 6割の学生が感じているモラルの低下
2. 倫理観の低下は充実度・満足度と相関 - 学生生活と深い関わり
3. 私語・ポイ捨て・携帯電話に感じるモラルの低下

第4章 経済

第1節 学生の経済生活の現状

1. 経済生活
2. アルバイトと学生生活

第2節 学生の学費負担感について考える

1. 学費負担の実感
2. 学費負担の自己責任と公的教育費負担
3. 学費徴収方法の変更や卒業必要期間を学生が選べる制度への転換

第3節 学生生活の支援のために

1. 収入の推移
2. 個人助成の充実
3. 正課に対する支援
4. 生活関連支援
5. 大学の経営努力

第4節 国の役割

1. 経常費補助
2. 国・公立，私立の格差是正

第5章 就職

第1節 学生と就職 その不安

第2節 学生の職業観

1. 学生の進路選択
2. 望ましい民間企業
3. まとめ

第3節 インタ - ンシップ

1. はじめに
2. インタ - ンシップの形態
3. 就職とインタ - ンシップ
4. 文系学生とインタ - ンシップ
5. インタ - ンシップの定着と浸透への課題
6. コ - プ教育の普及を
7. おわりに

第6章 私立大学の存在意義を考える

第1節 学生にとって大学で学ぶとは

第2節 私立大学の学生像 “満足” “不満足” による類型化

1. 解析手法の概要
2. 因子負荷空間による所見
3. 因子得点空間による所見

第3節 21世紀の私立大学

1. 教育のマス化からユニバ - サル化への展開
2. 成熟経済における教育経費の負担限界
3. 私立大学にとっての “教育研究競争” のボ - ダ - レス化

補論 機会均等への道

プロロ - グ 開発と教育

第1節 諸悪の根源 - 格差社会

第2節 格差の実態とその改善方法を探る

第3節 格差なき世界の国々

1. カナダの高等教育財政
2. ロシアの高等教育財政
3. ハンガリ -
4. オランダ
5. アメリカ
6. イギリス

エピロ - グ 自主独立の意気高く

特集 FDの取り組み

参考資料

自由民主党文教部会私学振興プロジェクトチ - ム

「21世紀のわが国を託する私学の振興方策等について」〔中間報告〕

資料

1. 日本育英会「きぼう21プラン奨学金等について」アンケート集計結果
2. 「第10回学生生活実態調査」の実施概要・調査表

あとがき